

まなび方のでびき



東海市立明倫小学校
学習指導部

学校での学習の基本

学習に必要な持ち物

◆毎日の学習に必要な持ち物です。忘れずに準備しましょう。

【ふでばこの中】 <input type="checkbox"/> けずった鉛筆 5～6本（2B～HB） <input type="checkbox"/> 消しゴム <input type="checkbox"/> ものさし <input type="checkbox"/> 赤ペン（1～2年生は赤えんぴつ）
【道具箱】 <input type="checkbox"/> のり <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> 色えんぴつ（またはクーピー） <input type="checkbox"/> ネームペン <input type="checkbox"/> フェルトペン（1～2年生） <input type="checkbox"/> クレパス（1～3年生） <input type="checkbox"/> コンパス（3年生以上） <input type="checkbox"/> 三角定規 2種類（3年生以上） <input type="checkbox"/> 分度器（4年生以上）

しっかりと話を聞く

◆人の話をしっかりと聞くことで、自分の理解が深まります。

<input type="checkbox"/> 話す人の方を向いて聞く。 <input type="checkbox"/> うなずいたり、メモをとったりしながら聞く。 <input type="checkbox"/> 話を最後まで聞き、話の途中で口をはさまない。
--

しっかりと考えを伝える

◆自分の考えをしっかりと伝えることで自分の理解を確かめます。

<input type="checkbox"/> みんなに聞こえる声の大きさと話す。 <input type="checkbox"/> きちんと立って話す。 <input type="checkbox"/> みんなの方を向いて話す。 <input type="checkbox"/> 最後まできちんと話す。
--

●身につけたい発表の仕方（話型）

<input type="checkbox"/> わたしは ～ だと思います。	<input type="checkbox"/> そのわけは ～ だからです。
<input type="checkbox"/> ～さんに つけたします。	<input type="checkbox"/> ～さんの考えに さんせいです。
	<input type="checkbox"/> ～さんの考えに にています。
<input type="checkbox"/> ～さんの考えに はんたいです。	<input type="checkbox"/> ～さんに しつもんがあります。
<input type="checkbox"/> ～さんの考えとは ちがいます。	

学年が上がるにつれて、さまざまな話型を組み合わせるようになります。
また人の意見を聞いたり、自分の考えをはっきりと話したりする力はどの教科においても基本となる力です。

学習に向かうまえに…

◆学習の基本として、次の約束を守ります。

- 手を挙げるときは、手をしっかりとのぼす。
- 呼ばれたら必ず返事をする。返事ははっきり元気よく。
- 席をはなれるときは、必ずいすを入れること。
- 次の時間の教科書やノートを机の上に準備してから放課です。

ノートのつかい方

◆次の点を基本として、学年に応じた方法でノートを使います。

ノートと筆記用具

- ◎ノートのサイズ、マス目の大きさ、罫線の広さは、学年に合ったものを使用します。
- ◎下敷きを使用します。
- ◎色は、赤を使います。1・2年生は色えんぴつ、3年生以上は赤ボールペン・赤ペンでもよいです。

ノートに書くとき

- ◎先生の板書をノートに残してふり返りができるようにします。

< 黒 板 >

< ノート >

日にち・曜日を書く・・・・・・・・・・やくそくの場所に書く
本時のめあてを書く
まとめや感想を書く

その他のやくそく

- ◎学習の集中を妨げるキャラクター消しゴムや香り付き消しゴム、多色ボールペンやマーカーペンは持ってきません。
- ◎答え合わせでは、間違えたところは消さずに赤ペンで直します。
- ◎マス目に一文字ずつ記入し、見やすいノートづくりに心がけます。

家庭学習の手引き

1. 家庭学習の手引きについて

小学校の学習は、将来子ども達が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校では、学習内容が定着するように努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、定着がより確かなものになると考えます。

そこで、本手引きを作成し、保護者の皆様に配付することになりました。

保護者の皆様におかれましては、本校の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い致します。

2. 家庭学習を通して育てたい児童の姿

○生活時間を有効に使うことができる子

(勉強・読書・手伝いの時間が、テレビやゲームの時間より多い子)

○家庭学習の習慣や方法を身につけた子

○基礎的、基本的な学習内容(計算・漢字)を身につけた子

3. 基礎的、基本的な学習内容とは…

学校で学習する内容(教科書にのっている内容)です。

特に、次のような技能は、学年のつながりがあります。だから、各学年で確実に身につけておくことが大切です。

- 教科書に出てくるような文章をすらすら読むこと。
- 教科書に出てくる漢字を読んだり書いたりすること。
- 教科書に出てくるような算数の問題を解くこと。

4. 家庭学習の習慣づけのために…

習慣化のポイント

- ①学習する時間を決めて、毎日同じ時間に！
- ②テレビを消して、集中力アップ！
- ③5～6年生は学習後、答え合わせ(自分で)まで！

◎おうちの方へ 家での声かけを大切に。

- ・子どもが学習していることに興味をもち、励ましをお願いします。
- ・子どもがたずねてきたら、できる範囲で結構ですので答えてあげてください。
- ・時には、子どもががんばった成果(ノート・プリント)に目を通し、努力を認めてあげてください。